

蒲田東特別出張所管内

人口	男	23,526名
	女	22,262名
	計	45,788名

世帯数 28,732世帯

令和3年1月1日現在

# かまた東

★発行  
地域力推進  
蒲田東地区委員会

★編集  
地域情報紙「かまた東」  
編集委員会

★事務局  
蒲田東特別出張所  
蒲田本町2-1-1  
Tel (5713)2001

## 夢の飛行船

会場はシーンと静まりかえり、次の言葉を待っている。「TOKYO」の言葉に歓喜に満ちた会場・日本国・そうです、あの日の興奮はコロナパンデミックで1年の延期を余儀なくされた2020年、そのままに形を保ち2021年「TOKYO2020」として甦ろうとしています。さー、蒲田東地区19自治会・町会の皆様大きく息を吸い込み、この夢の飛行船を飛ばしましょう。ブルーインパルスが作る五輪の輪の中へ。蒲田東地区19自治会・町会は空の玄関口「羽田空港」におもてなしの花を咲かせます。

オリンピック・パラリンピック・「聖火」ギリシャの太陽光から集められた神々に捧げる神聖な火として『東京』に遣って参りました。この「聖火」も今は都庁で眠りにつき今か今かと外に出るのを待っております。

2021年7月21日、聖火は大森ふるさとの浜辺公園をスタート。第一京浜を南下し、我々が大田区総合体育館（ここは御存じでしょうか）1964年の聖火通過点として「聖火リレー走者像」があります。その前には「聖跡 蒲田梅屋敷公園」

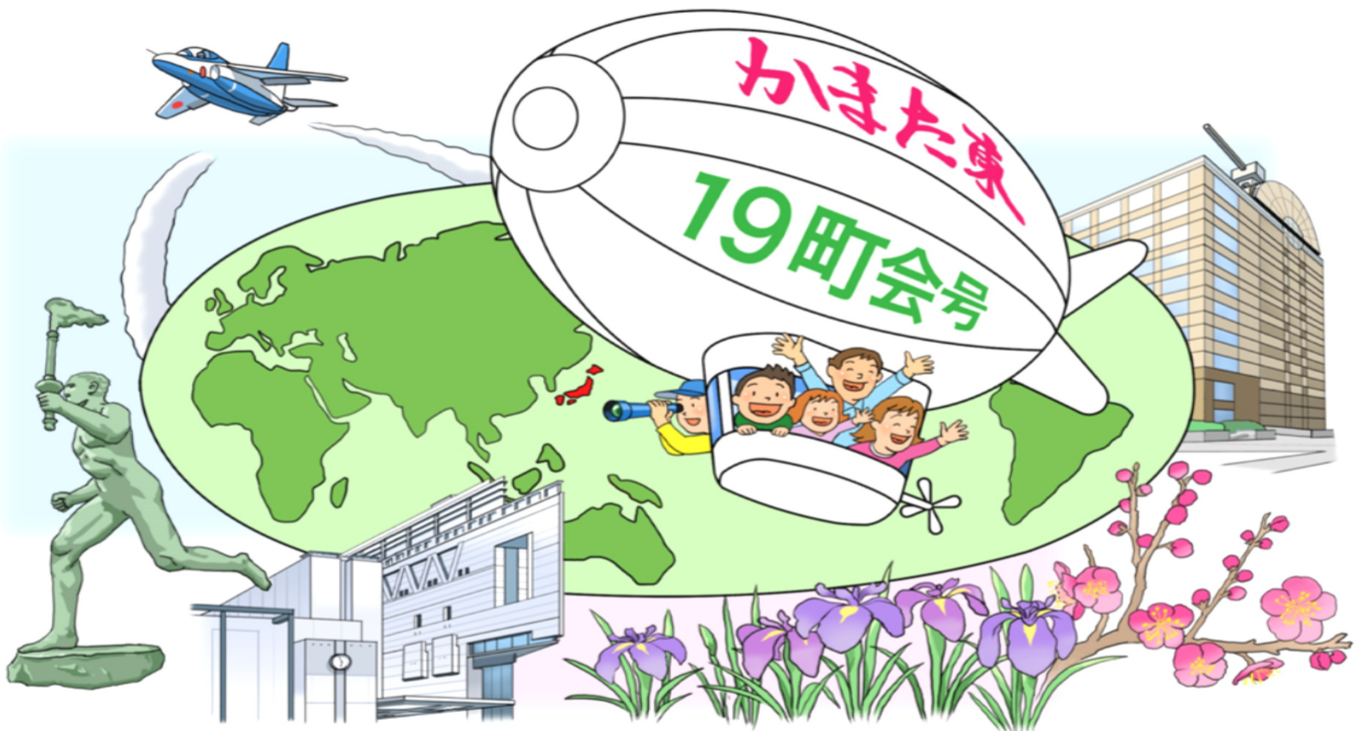
明治天皇の行幸を何度も得た由緒ある公園です。聖火は進みます。呑川に架かる「夫婦橋」すてきな名前の橋です。夫婦円満これが、日本を支えます。

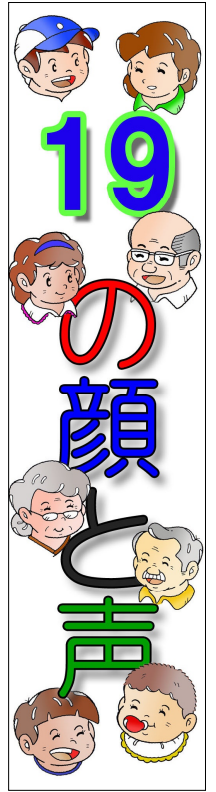
呑川を過ぎますと三角形にデザインされたユニークな建物が見えます。「大田区産業プラザ」愛称「PiO」と呼ばれている大田区の産業界の代表にふさわしい建物です。御紹介します。今、野口聡一さんもクルードラゴンのクルーの一人として宇宙ステーションで様々な実験に取り組んでおられます。この町も、宇宙船に使う部品を作ったと聞きました。最近では記憶に新しいボブスレーを作ったのもこの町工場の元気な姿と言えましょう。また、ここには「東京都知的財産総合センター城南支援室」があります。特許なんてニュースの中に出て来る話ですが、物作りの町ならではの感じました。貴方の知恵とひらめき形にしませんか。

聖火はラストランに入ります。大田区本庁舎へ、本庁舎では松原区長が満面の笑顔で迎えて下さるでしょう。

**夢は諦めなければ必ず叶います。**  
イラストの「夢の飛行船」を貴方の色で塗ってみましょう。

第57号編集長 山崎 礼子





私の健康法

東蒲田二丁目南町会

神谷 光男

私は今年で92歳になります。健康で長生きするために毎日リズムある生活をしています。朝は5時に起きて夜は10時に寝る事、そして散歩とラジオ体操は日々の日課となっています。

ラジオ体操を始めたのは、平成10年9月からです。「梅屋敷ラジオ体操会」に入会して24年目になります。早めに公園に行き、軽めのストレッチの後15分間のラジオ体操は元気の秘訣です。

又、会の行事で川崎大師への初詣や池上本門寺への花見会(歩いていきます)、都内各地の施設見学会などへ参加しています。昨年は「コロナ禍」の影響で全ての行事が中止となり残念でした。

いずれにしても参加すること「仲間との会話」、行事運営を通じて「脳の鍛錬」、いろいろな施設に行く「刺激」は健康年齢で長生きの秘訣と思います。皆さんも「会話・脳トレ・刺激」

の3つはラジオ体操に参加すると満たされます。是非のご参加をお勧めします。



体操中の神谷さん

蒲田への想い

蒲田東口町会

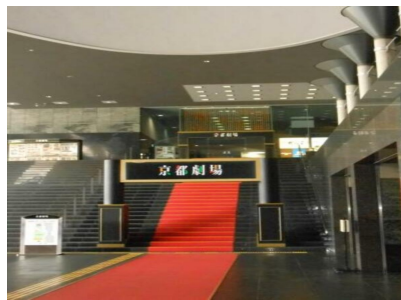
岩崎 誠

私は台東区の谷中という下町に生まれ育ち二十歳の時に蒲田の会社に就職してから現在に至るまで三十四年間蒲田で働いています。働き始めの頃は自分のために働き、結婚して子供が生まれてからは家族のために働いてきました。

当たり前のように蒲田の街で働いてきましたが、この三十四年間で街の色々な変化に伴い様々な業種の方と知り合う事が出来ました。今も蒲田で働く事が出来ているのは蒲田の街と蒲田で知り合った人のお陰だと

感謝しています。

これから先も蒲田の街は変わっていくと思いますが、今まで以上に賑わいのある街になる事を願っています。個人的な願いとしては、蒲田駅の老朽化に伴って替える際には、京都駅のように駅ビルの中に劇場を作り、そこに来たお客が買い物したり、飲食をしたりして賑わってくれば街の価値も上がり、人も集って来て蒲田の街の更なる発展に繋がると思っています。



劇場のある京都駅構内

コロナ禍での町内会の活動について

蒲田二丁目自治会

服部 孝介

去年二月に発生した新型コロナウイルスによる感染は、あっという間に日本を含め全世界に拡大してしまいました。このような状況では、集会は開けませぬし、また、町内会での活動も自粛を余儀なくされました。

我が町会での活動も七月に開催を予定していた「夏休み子どもお楽しみ会」は中止になりました。また、九月の交通安全運動、十月の防犯運動、そして十一月の防火運動も自治会会員の皆さんが集つての町内のパトロールは中止して、たれ幕、のぼり旗、たて看板を立てての対応となりました。

一日も早く新型コロナウイルスによる感染が収まって、元の活動が再開することが出来るよう、祈ってやみません。



夕暮れの梅屋敷商店街

山へ行こう!

東蒲田一丁目自治会

田村 和夫

なにかにつけ意見の食い違ふ私達夫婦ですが、静かな山や森の道をいつまでもどこまでも歩きたい、という思いは共通しています。ところがこのコロナ禍で、アウトドアな趣味がとんでも難しくなりました。しかし私達は、利用する交通機関などを工夫したりして、なる

べく山へ出かけるようにしています。

フィットンチッドなどの森の気はナチュラルキラー細胞を活性化させて、がん細胞やウイルス感染細胞などからの防御力(人間が本来もっている免疫力)を強化するといわれています。こんなときだからこそ森林浴(登山・ハイキングは有効かもしれません。「密」になることのない、紫外線が燦々と降り注ぐ、新鮮で清々しいそよ風の吹く野山へ、勇気を出して、みなさんも出掛けてみませんか。



森吉山の山頂にて

蒲田本町二丁目の今昔(環境変化について)

蒲田本町二丁目町会

福祉部長 沢登 廣三

昨年の夏は暑い日々が続きましたが、アコンが終日動いていましたが、私が昭和二十八年中学二年の時、渋谷より引越してきた当時は30度を超える真夏日はそんなに多くはありませんでした。私の家では扇風機はなく団扇で充



六郷用水分流跡



消火訓練の様子



旧大田区体育館



現大田区総合体育館



あすと内設置のコロナ対応看板

周りを見渡すと、現在暗渠あんきょになつている六郷用水路には野生のメダカが群れをなして泳いでいました。私は網ですくいで飼育していました。

又、現在蒲田警察署の中庭辺りと本門佛立宗妙泉寺辺りに大きな家があり、小魚やザリガニが居り近所の子供たちの遊び場となつていました。周りは空き地が多く、このあたりでも昆虫採集ができました。当然夜は蚊帳がなければ眠れませんでした。

その後焼け落ちた工場跡地や空き地は住宅が立ち道路は舗装され、池は埋め立てられ、六郷用水路は暗渠あんきょとなり、ハエ、蚊等はいなくなりましたがメダカやザリガニ、小魚、トンボ等は絶滅しセミの数も大きく減り環境は大きく変わり、快適な生活を得た代わりに失った物の大きさを思うこの頃です。

### 災害に強い町 「蒲田三丁目」をめざして

蒲田三丁目町会

防火防災部長 高橋 康之  
市民消防隊長 市川 雅己

年々脅威を増す災害、特に首都直下地震では同時多発火災が発生した場合、公の背負う消防力が追いつかない厳しい現実があります。

この脅威に備える為、私達の町会ではスタンドパイプ（以下SPと言う）を平成25年から設置、訓練をして参りました。こうした取り組みが評価され東京消防庁より去年の「地域防災功労賞」を受賞致しました。去年2月SP隊を立ち上げ、趣旨は初期消火と年々気薄になる「絆」を高めて行く事としました。又コロナ禍でも地震は自粛してくれません。今、出来る防災を一人一人が心がけることで災害に強い町「蒲田三丁目」を作り上げて行きたいと思っております。

### 去年の雪、いまいずこ

東蒲田一丁目町会

はつとり よしを

父が亡くなった後、ひとり東蒲田の侘しい家から会社に通い、ひとり良い事に書籍や映像作品、自分の好みの蒐集品の中に囲まれながらの二十五年。疎開先から東蒲田に戻って来て七十年が経った。

かつての住居は現体育館裏で、小学一年生で荏原に引っ越し、そこから小学六年生半ばで親戚縁者もいない滋賀、草津に戦中疎開し、関西弁に初めて接した。そして終戦、大学入学と共に家族に戻った久しぶりの東蒲田。かつての少年期の東蒲田は広く、大きく、のどかに映っていたが、あの頃と違い、私にはこんなに狭い地域だったのかと、いぶかしく、感慨しきりだったことを、近い日に東蒲田を去らねばならない現在、思い出す。

かつて少年期を過ごした東蒲田。かつてからの知り合いのひとは、優しく、暖かい。

### 第二の故郷蒲田

東蒲田二丁目町会

阿相 祐太郎

昭和二十八年春、夜汽車の窓から吹き込む煙で黒くなった顔を上野駅で洗った。イデオロギー闘争や「仕事よこせ」等混沌とした世相の中、青春を過ごした。暗い事件も多かったが国連加盟、オリンピック、万博、上皇様上皇后様の御成婚、沖縄返還は「もはや戦後ではない」と云う平和日本として歩むべく目標が民意として定まり皆希望を持った。東蒲田で切削工具製作に携わり八十三才迄仕事一途に過ごしました。百寿会に入会し町会の行事やカラオケ等楽しい日々を過ごして居ります。

コロナウイルスを克服し無事にオリンピック、パラリンピックが行われることを希い第二の故郷東蒲田で穏やかに過ごしたいと思っております。

### 人生の試練

蒲田五丁目南町会

佐藤 慎一郎

この文章を書いている現在も、コロナによる騒動は一向に収まる兆しが有りません。

私は戦後の数年を過ぎて生まれた人間なので幸い「戦争」と言う悲惨な経験が有りません。まだ敗戦の記憶も冷めやらぬ頃、日本中が貧しくも明るく、活力に溢れていたのを覚えています。

「このまま日本は平和で何事もなく過ぎ、私の人生も楽しく無事に終える事が出来そうだな」と感じていた矢先に大地震、津波、そしてコロナの来襲です。神様は一生を静かに送らせてはくれないのだと悟りました。

コロナの終息は来年になるのか、まだ先になるのかは知りませんが、今は只じっと耐えるしかないのでしょうか。

私の人生の最後の試練として…。

リーダー19  
会長大いに語る 第五回



蒲田公団自治会長

野澤 秀作

今年度は世界中がコロナ感染拡大にさらされた1年でした。皆様の地域でも大変な状況だったと思います。このような時期に、お年寄りの安心、温かい見守り、支え合いなど地域の力が欠かせないとの声を耳にしました。当団地も子供たちが独立し、老夫婦や独り暮らしの方も多くなりました。最近、自然災害や詐欺の被害も多くなり、人と人との絆もなくなった昨今、何とかしたいとの思いが強くなりました。経験豊かな包括支援センターに相談すると「お手伝い、お力をかします」との温かい言葉をいただき背中を押されました。その他、民生委員、社会福祉協議会の力強いご協力を頂き、12月〜翌年2月にかけて月1〜2回の打ち合わせの結果、



準備が整いました。ポスターも包括の石井さんにお手伝いをお願いしました。ポスターには「気楽に「ふらっと」立ち寄る・・・皆でにぎやかに「わいわい」楽しむ・・・そんな場所です。「歌」や「趣味の活動」など・・・やることは皆で相談してきめます。楽しい時間を過ごして、知り合いを増やしませんか？お待ちしております」と、ご案内をしました。

いよいよ3月4日、公団カフェ「ふらっと」、プレオープンです。ご協力いただいた包括・民生・社協の皆様が集まり見守る中、会員の方々が来ないのでは？と心配でしたが・・・やりやりました。団地にお住まいの方22名ありホッとしました。5月はコロナ禍で集会所使用禁止、8月はコロナ感染拡大の為に中止としました。参加者の入れ替わりはありますが平均13〜15名まずまずだと思います。毎月新しい参加者もあり開催してよかったです。

現在は脳トレ、しりとり、ビンゴゲーム、折り紙、腰かけて軽い体操など組み合わせてマンネリ化しない様になっています。これからは、皆様にご意見を出していただきながら「ふらっと」独特の喫茶店として長続きするように希望しています。

蒲田東ぶらり  
名所めぐり 第一回



東京に住んでいると、毎日のように新たな発見ができ、アドベンチャーとびつくりでいっぱい。もちろん、人気の観光スポットに行くのは楽しいですが、それよりも、ガイドブックには載っていない、人混みから離れたところに足を運んでみる方が好きです。今回「かまた東」の編集委員の皆さんと蒲田東地区を巡った場所を案内してくれたり、昔の話をたくさん教えてくれました。

始めに、夫婦橋と新呑川を訪れました。昔はもう一つ川があり、夫婦のように隣で流れていたことから名付けられたそうです。編集委員さんは、ここからポンポン蒸気に乗って羽田沖まで行き、海で泳いだり貝を拾ったり、色々な水遊びをしたようです。私の地元も海沿いの町にあり、子どもの頃に同じような遊びをしていたので、なつかしさを感じました。現在、旧呑川が流れていた跡地は公園になっていて、桜の木がたくさん並び、春になるととても綺麗だと、編集委員さんが言っていました。続いて、キネマ通り商店街へ。

歴史のある商店がまだ残っており、レトロな雰囲気が出て、まるでタイムスリップしたかのようでした。

その後、椿神社に行きました。風邪を引いて咳が出たらこの神社へ行き、麻紐を首に巻くと咳が治るといわれていて、編集委員さんも子どものときによくやっていたそうです。

最後に、大田区総合体育館へ行きました。1964年にオリンピック聖火リレーが通過したことで知られ、記念像が建っています。東京オリンピックが開催される場合は、またここを通る予定だそうです。

編集委員さんとの散歩はとても楽しく、また梅や桜が咲く頃に蒲田東地区を巡りたいと思います！

大田区国際交流員

ベサニー カミングス



新町会長紹介



南蒲田三丁目町会 増田 行雄会長

蒲田五丁目南町会 鈴木 小弥太会長

編集委員紹介

編集長

蒲田三丁目町会 副編集長

蒲田一丁目自治会 杉山敬次郎

東蒲田一丁目自治会 田村 和夫

東蒲田二丁目町会 阿相祐太郎

南蒲田一丁目自治会 森口 恵夫

蒲田二丁目自治会 服部 孝介

蒲田東口町会 上澤 功夫

東蒲田一丁目町会 笠原 信子

蒲田五丁目南町会 佐藤慎一郎

蒲田本町二丁目町会 遠藤 末子

南蒲田三丁目町会 岡本 愛

京浜蒲田町会 加藤 郁夫

本蒲田一丁目町会 中台陽一郎

蒲田本町一丁目町会 石井 正夫

南蒲田二丁目町内会 高田 和男

蒲田四丁目町会 小倉 孝子

蒲田二丁目東町会 鴨井 從雄

蒲田公団自治会 野澤 秀作

東蒲田二丁目南町会 徳田 憲幸